

令和 7 年度自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、学校法人国際総合学園 上越公務員・情報ビジネス専門学校の
自己点検・評価活動の結果を記したものである。

■評価項目の達成度及び取組状況

自己採点は次の４段階を基準とし評価する

４（適切）、３（ほぼ適切）、２（やや不適切）、１（不適切）

1.教育理念・目標

評価項目	達成度
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 教育理念、校訓、教育方針などを《学生の手引き》に記載し、毎年４月に実施する新入生・進級生のオリエンテーションの際に説明の機会を設け、より深い理解につなげている。教職員に対しては年度初めに内容の浸透をはかるとともに、変更内容について確認する機会を設け、理解と指導についての情報共有を行っている。 保護者への周知は保護者会などを実施し、周知していくことが必要。 学外に対しては学校ＨＰによる情報公開を行っている。	

2.学校運営

評価項目	達成度
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 運営方針は全体職員会にて全教職員・講師会で周知。学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。 人事、給与については、法人の就業規則および諸規程によって規定されており、法令に遵守して整備されている。諸規程は全職員が閲覧できるよう電子ファイルにて公開されており、グループ全体で管理・指導され実行している。 各種制度の整備やシステム導入により教職員の働き方改善が進んでいるが、ICTに関して最新情報を把握し、効率化を推進していく。	

3. 教育活動

評価項目	達成度
カリキュラム・シラバスの作成がなされているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
学生アンケートを定期的実施し、授業評価を行っているか	4
職業教育のために外部でのインターンシップが行われているか	4
コミュニケーション能力を向上させる取り組みを行っているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
施設・行政等の連携を図っているか	3
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 カリキュラムは、各系の教員と教務部長が策定、各業界関係者の意見を参考として作成され、副校長の承認を持って決定する。成績評価、進級・卒業判定の基準は「学生の手引き」に 記載され学生に周知されている。 学生授業アンケートは、前期末・後期末の年2回実施。結果については、副校長、教務部長から、専任職員に対してフィードバックを問題点の改善を図る。 業界等との連携における関係分野の知見に優れた講師確保や教員研修等を推進し、質の高い職業教育に努める。新たな分野の講師確保は業界連携だけでは確保は難しく、上越市連携、独自ルートの開拓が課題である。	

4. 学習成果

評価項目	達成度
学生の就職に向けての意識付けが図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学を抑止する働きかけが適切になされているか	4
退学結果の記録・報告が適切に行われているか	4
卒業生の進路・就職先の把握がなされているか	4
卒業生の就職先での評価を把握する取り組みを実施しているか	3
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 就職部長を配置し、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を実施。退学防止のため、個別面談の実施や状況により保護者と連絡をとりながら行っている。退学率の低減を図る目的とし産業カウンセラーと契約し、精神的に不安定な学生や問題を抱える学生のケアを行っている。卒業生については校友会が組織され、校友会との連携により卒業生の動向を把握している。	

5. 学生支援

評価項目	達成度
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
キャリアサポートの担当者を配備して支援を行っているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 学生相談は担任と各学科の教員で対応する体制が整備されている。また就職については担任と就職部長によって学生の情報を共有し、適切な就職支援ができています。学生相談は、個別に合わせて保護者に連絡しながら対応しています。課外活動については、今後サークル活動などの活動費や道具等の支援を積極的に行っていきたい。	

6. 教育環境

評価項目	達成度
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学校施設、備品等が定期的に保守・点検が行われているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
災害、事件、事故発生時の校内緊急体制は十分に整備されているか	4
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 耐用年数が迫っているものもあり、修繕や交換などを検討している。防災に関して避難経路の確認や避難訓練を実施した。インターンシップ、海外研修を実施。受入先と連携して研修が進められるよう教育体制が整備されている。	

7. 学生の受入れ募集

評価項目	達成度
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 学校パンフレットおよび募集要項にて明示。また、HPにおいて、各学科のメインの授業、科目、目標、就職採用実績などを明確に記載している。	

8. 財務

評価項目	達成度
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。 18 歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築が重要となる。	

9. 法令遵守

評価項目	達成度
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部が窓口となり一括して実施。個人情報の保護に関する規程は学生の手引きに記載し周知されている。また、学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。本報告書については、当校の Web サイトに掲載・公開している。	

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	達成度
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4
【評価の理由・課題・今後の改善方策】 上越商工会議所、国際交流協会等の会員として、地域活動の支援を実施。地域活動の会合や、インターンシップ委員会等にも意欲的に出席することで社会貢献活動に取り組んでいる。コロナ明けからボランティアの依頼も少しずつ増えているが、募集は少ない状況である。外部依頼のイベントボランティアへの参加や上越市イベントなどに学生の参加依頼を検討していく。	

以上